

## 本市の公共施設等を取りまく状況

### 【長岡京市の状況】

- \* 昭和 30 年代後半からの高度経済成長に伴い、急激に市街化が進展するとともに人口が急増。現在も人口約 8 万人を維持しているコンパクトな都市です。
- \* 京都・大阪へのアクセスが良好であり、阪急電鉄西山天王山駅も新たに開業したことから、交通利便性の一層の向上が期待されています。

### 【公共施設等の状況】

- \* 平成 26 年度末における公共施設等の用地は約 50 万㎡、建物総延床面積は約 17 万㎡、市民一人当たりの延床面積は 2.15 ㎡。(全国平均は 3.22 ㎡/人)
- \* 昭和 40 年代から 50 年代にかけて建設された公共施設やインフラ施設が多く、**これからの施設の更新や大規模修繕の費用の確保が大きな課題。**

延床面積 = 各階の床面積の合計



## 公共施設等再編整備構想の概要

### 【策定の目的】

限られた財源の中で、社会情勢や市民ニーズの変化に対応すると同時に、総合的・長期的視点から、**公共施設等について経営戦略的に管理・活用し、市民サービスの質の更なる向上を推進**する。

### 【対象施設】

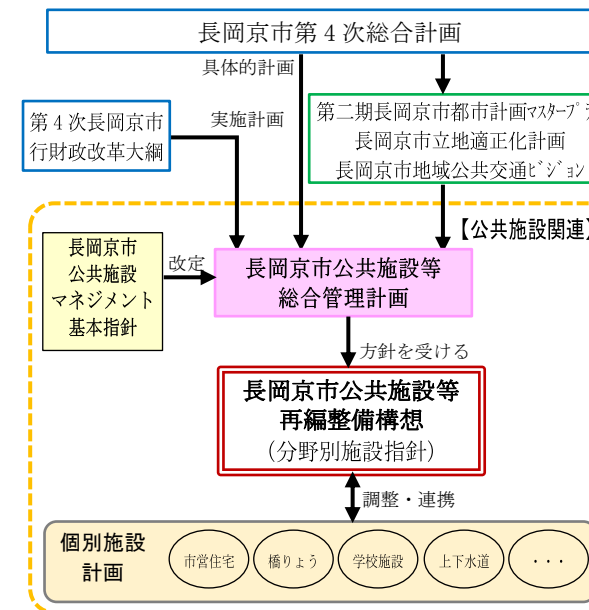
市が所有する**全公共施設（建築物）及びインフラ施設に付随する建築物**

### 【対象期間】

**平成 30 年(2018 年)度から平成 44 年(2032 年) 度までの 15 年間**

ただし、社会経済情勢の変化や、上位計画及び関連計画の策定・改定などを受けて、計画の進捗状況や必要性を検証した上で、適宜見直しを行うとともに、個別施設計画で事業の具体化を図ります。

### 【計画の位置づけ】



## 公共施設等再編整備の基本的考え方

本構想は、以下の考え方に基づき策定しています。

- ✓ 公共施設の適正管理の推進
  - ✓ 公共施設の長寿命化の推進
  - ✓ 公共施設の複合化の推進
  - ✓ サービスの向上策の推進
  - ✓ 優先順位の設定
- 「長岡京市公共施設等総合管理計画」における基本方針を踏襲
- ✓ コンパクトなまちづくりに対応する公共施設配置の推進
  - ✓ 公共施設や用地など公有財産の有効な利活用による市民負担の軽減

## 主な施設の今後の方向性

### 《①本庁舎・分庁舎》

(所在地) 開田 1 丁目 1 番 1 号ほか  
(概要) 昭和 35 年(1960 年)度以降に建設された本庁舎(南棟・東棟・北棟)のほか、分庁舎が 3 箇所ある。

### 《②保健センター》

(所在地) 今里北ノ町 39 番地の 5  
(概要) 昭和 57 年(1982 年)度に建設。鉄筋コンクリート造 3 階建、延床面積 712 ㎡。

- 中心市街地での庁舎建替えに合わせて、産業文化会館と保健センターの機能を集約する予定です。

### 《③産業文化会館》

(所在地) 開田 3 丁目 10 番 16 号  
(概要) 昭和 54 年(1979 年)度に建設。鉄筋コンクリート造 3 階建、延床面積は 1,358 ㎡。

### 《④老人憩の家》

(所在地) 長岡 1 丁目 37 番 20 号  
(概要) 昭和 55 年(1980 年)度に建設。木造平屋建、延床面積 137 ㎡。

- 老人憩の家と北開田会館の機能統合を目指します。

### 《⑤北開田会館》

(所在地) 長岡 1 丁目 31 番 15 号  
(概要) 昭和 62 年(1987 年)度に建設。鉄筋コンクリート造 2 階建、延床面積は 340 ㎡。

### 《⑥老人福祉センター竹寿苑》

(所在地) 粟生西条 8 番地  
(概要) 昭和 49 年(1974 年)度に建設。鉄筋コンクリート造 2 階建、延床面積は 854 ㎡。

- 策定を検討中の「共生型福祉施設構想」において、現在の機能に加え、介護予防拠点等の新しい機能や管理運営を含めた方向性を検討します。

### 《⑦長岡京市営浴場》

(所在地) 長岡 1 丁目 47 番 8 号  
(概要) 昭和 35 年(1960 年)度に建設。鉄筋コンクリート造 2 階建、延床面積は 438 ㎡。

- 当面の間は施設の機能維持に努めます。また、効率的な運営改善を進めながら、利用者の増加及び維持管理費の節減を図ります。

### 《⑧放課後児童クラブ施設》

(所在地) —  
(概要) 市内 10 小学校に 12 施設が設置。いずれも平屋で、昭和 56 年(1981 年)度以降に建設。

- 長岡第三小学校は、平成 30 年度を目処に改築の方向で計画を進めます。その後、長岡第四小学校について検討を進めます。
- 利用児童数の増加への対応は、長岡第九小学校を最優先にし、平成 32 年度以降、計画的に整備を行います。

### 《⑨保育所》

(所在地) —  
(概要) 開田保育所、神足保育所、滝ノ町保育所、新田保育所、深田保育所の 5 か所。

- 滝ノ町保育所は、園児の安全に最大限配慮し、適宜改修を行います。
- 新田保育所は、既に新築移転の計画を策定しており、順次施設の整備を進めていきます。
- 深田保育所は、老朽化への対応として、大規模改修や建替えを検討します。

### 《⑩スポーツセンター》

(所在地) 神足下八ノ坪 1 番地  
(概要) 昭和 55 年(1980 年)度に建設。鉄骨造 2 階建、延床面積は 1,618 ㎡。体育館とグラウンドからなる。

- 体育館は、耐震性能及び機能の向上を目指して建替えを行います。
- グラウンドについては拡張を含めた再整備を検討します。

### 《⑪学校》

(所在地) —  
(概要) 小学校 10 校、中学校 4 校。平成 27 年度末までに耐震化対応を 100%達成。

- 長岡第三小学校に関しては、校舎の建替えを検討します。
- 長岡第四小学校及び長岡第五小学校は、建替えや改修等の手法の検討を進めます。



## 跡地（未利用地）利活用方針

公共施設等の再編整備に伴って生じた跡地（未利用地）の活用方法については、以下の点に留意して検討します。

### (1) 公共及び公共事業での活用の検討

- 上位計画での位置づけや、将来における行政需要の対応を視野に入れて検討。

### (2) その他の活用の検討

- 財源確保につながる土地の売却について積極的に検討。その際、市の用地の利活用が与える利益が市民に対して大きくなるよう十分に検討。
- 公共的需要に適切に対応する条件のもと、返却を前提とした土地の貸付等を行い、財源確保や維持管理経費の削減などの市民負担を軽減するための手法を検討。

